

# 耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちわ。初夏のような陽気の日もあれば、肌寒く感じる朝晩もある今日この頃。寒暖の差にご留意されて、くれぐれもご自愛ください。さて、今年に入ってからの「耕平さんかわら版」は、お釈迦様の教えを噛みしめながら、社会や人のあり方に思いをはせています。

「諸行無常」「諸法無我」「一切皆苦」「涅槃寂靜」からなる「三法印」「四法印」「苦諦」「集諦」「滅諦」「道諦」からなる「四諦」、そして「中道」。「生老病死」の「四苦」に「愛別離苦」「怨憎会苦」「求不得苦」「五蘊盛苦」が加わって「四苦八苦」。さらには「正見」「正思惟」「正語」「正業」「正命」「正念」「正定」「正精進」からなる「八正道」。「戒定慧」の「三学」。

ものではありませんが、それぞれ社会や人のあり方を考えるうえで、たいへん示唆に富んでいます。先日、熱心に読んでくださっている方から「大塚さん、要するに欲はいかに古屋弁で訊(たず)ねられました。そうですわね・・・、当たらずも遠からずとも言えますが、本当のところはちよつと違うかなあという気もします。

お釈迦様の教えのキーワードを勉強してきました。読み方はそれぞれ先月号までをご参照ください。お釈迦様の深〜い教えですから、ちよつと勉強したただけで理解できる

ものではありません。しかし、何かに妄執するほどの欲を持つと、様々な悩みや煩(わづら)わしさに苦しみます。「欲」に妄執する結果、本来は悪ではない「欲」が「悪欲」になります。食欲、性欲、睡眠欲も、妄執して度が過ぎると、飽食、愛欲、惰眠となります。日頃からご指導いただいている高僧がかつておっしゃった言葉が今も記憶に残っています。曰く「五欲は善でも悪でもない。欲を律すれば善となり、欲に囚われれば悪となる。要は心の持ち方次第」。なるほどなあと思いました。

仏教では、人間には、食欲、性欲、睡眠欲、金銭欲、名誉欲の「五欲」があると云います。最初の三つは本能的な欲で、これらが完全になくなってしまうと、人間は個としても、種としても命を維持し、繫(つな)ぐことができません。これらを完全に否定するわけにはいかないでしょう。金銭欲と名誉欲は社会的な欲です。それが自立心や向上心に繋がる面もありますので、一概に悪いとは言えないでしょう。「五欲」は、本来は悪い

※ 耕平

## かわら版執筆者 大塚耕平

日泰寺の地元、田代小学校、城山中学校を卒業。旭丘高校、早稲田大学をへて、日本銀行に18年間勤務。

2001年から参議院議員。元内閣府副大臣、元厚生労働副大臣。地元の歴史・文化遺産の継承と振興のために「弘法さんかわら版」を執筆しています。今年で、足かけ13年目。

日銀時代に母校の大学院博士課程を修了(学術博士)。現在は、早稲田大学と中央大学大学院の客員教授も務めています。

### 弘法さんかわら版

弘法大師の生涯と覚王山

第1号から第78号は、2008年に大法輪閣から本になって出版されました。

好評発売中

大法輪閣

(仏教書の老舗出版社)

営業部：電話 03-5466-1401

